

# 首相官邸発言の波紋

## ～マイキン統計について～

**H27.3.31**

首相秘書官(中江氏)が厚労省(宮野総審、姉崎統計情報部長)に「問題意識」を伝える。

出典：平成31年2月15日 衆議院予算委員会議事速報

**【首相秘書官】**「過去にさかのぼって、大幅に数値が、伸び率の数値ですが、変わるようでは経済の実態がタイムリーに表わせないのではないかと。タイムリーに表わすために改善の可能性について考えるべきではないかという問題意識を伝えた」

**H27.9.16**

毎月勤労統計の改善に関する検討会(抜粋)(厚労省)

出典：平成27年9月16日 第6回毎月勤労統計の改善に関する検討会資料「毎月勤労統計の改善に関する検討会中間定期整理(案)」

**【ローテーションサンプリング方式導入について】**

「入れ替え頻度を現在の2～3年に1回から毎年または年に数回高めた場合、実務面で問題」「ギャップ補正が必要になるのであれば合理性は低い」との意見があり引き続き検討

**【ギャップ補正方法(ベンチマーク更新)】**

ベンチマーク更新時の賃金・労働時間指数については、新旧ベンチマークの差に伴う労働者構成のギャップ補正(三角修正方式)を行う。ただし、過去の増減率については変更しない。

**H27.10.16**

経済財政諮問会議

出典：平成27年 第16回経済財政諮問会議議事要旨

**【麻生財務大臣】**

「毎月勤労統計については、企業サンプルの入替え時には変動があるということもよく指摘をされている。(中略)ぜひ具体的な改善方策を早急に検討していただきたい」



# 「毎月勤労統計の改善に関する 検討会中間的整理(案)」の変遷

5回目(H27.8.7)→6回目(H27.9.16)

～結果が1ヶ月で変わった!!～

## Ⅲ まとめ

### (2) 定期的なサンプルの入れ替え方法

サンプルの入れ替え方式については、入れ替え時のギャップの縮減を図る観点から、また、ギャップの縮減により結果的に精度の向上に貢献する可能性もあることから、現在実施している総入れ替え方式から部分入れ替え方式(ローテーション方式)へ移行することも考えられる。

しかし、サンプル入れ替え時に生じる賃金・労働時間のギャップを十分に縮減するには、部分入れ替えの頻度を高める必要がある。入れ替えの頻度を現在の2～3年に1回から毎年または年に数回に高めた場合、それに伴い発生する実務面での問題点(調査票管理システムの更新、都道府県の人員体制及び予算措置の強化等)について、慎重に検討する必要がある。が発生する。

また、部分入れ替え方式を採用する場合でも、に移行しても、ギャップの補正が必要になるのであれば、当該方式を採用する合理性が低いとの意見もあせ、る。当面、次回の平成29年1月の入れ替え時には、現在の総入れ替え方式で行うことが適当である。このため、サンプルの入れ替え方法については、引き続き検討することとする。

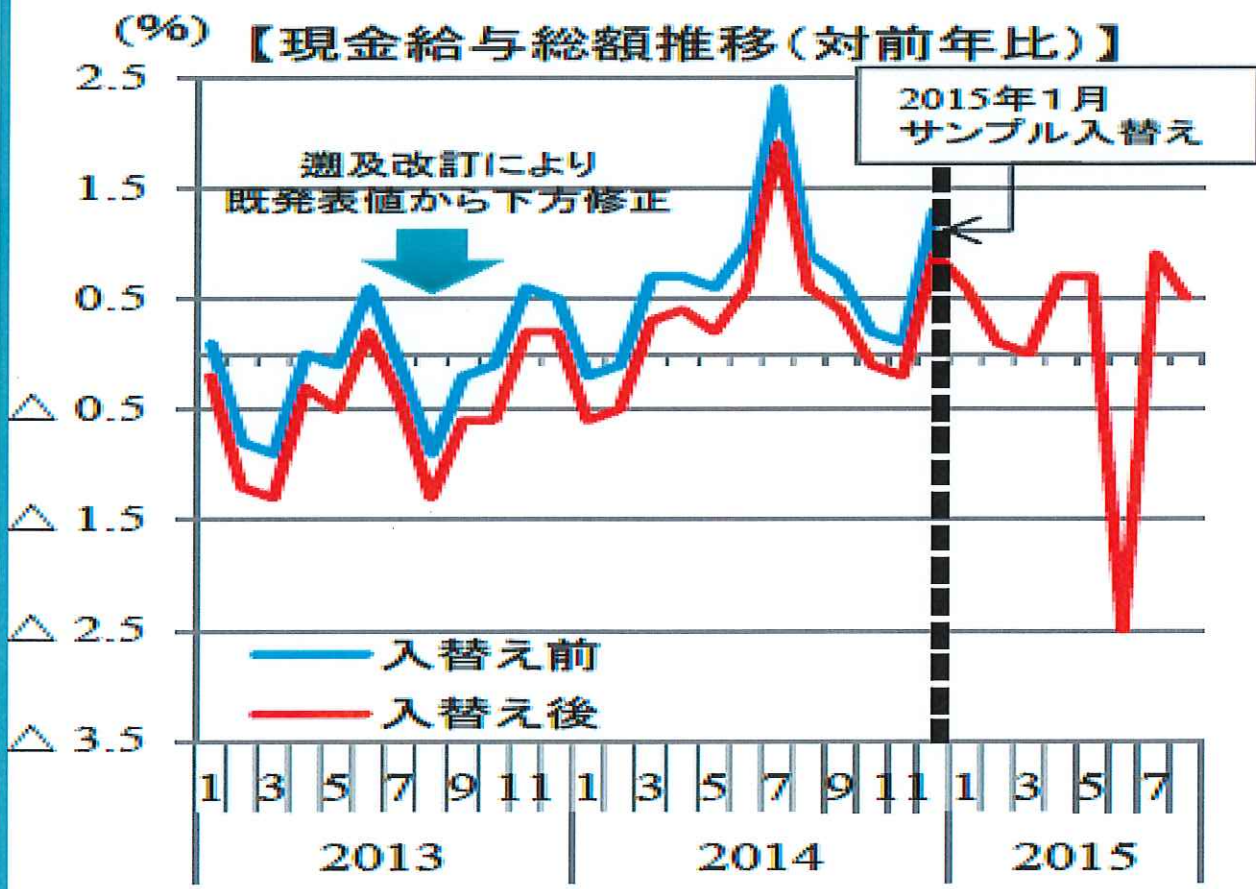


# 麻生大臣の経済財政諮問会議提出資料

## 毎月勤労統計

：雇用者の賃金動向を示す

■ 事業所サンプルの入替え時に「非連続な動き(数値のギャップ)」が生じているのではないか。



出典) 平成27年10月16日第16回経済財政諮問会議資料より抜粋  
出典資料をもとに長妻昭事務所で資料作成

パネルの写し

## <第5回 H27. 8. 7>

### ◎阿部座長（中央大学教授）

「ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。では、検討会の方向性としては、総入れ替え方式で行うことが適当であるということにさせていただければと思います。」

出典)「平成27年8月7日第5回毎月勤労統計の改善に関する検討会議事録」より抜粋

## <第6回 H27. 9. 16>

### ◎手計（てばか）雇用・賃金福祉統計課長補佐

・「阿部座長におかれましては、急遽体調不良により御欠席との御連絡をいただいています。」

・「サンプルの入れ替え方法についてももう少し議論したほうがいいのではないかといった御意見もあったところですので、『サンプル入れ替え方法については、引き続き検討するとこととする』ということで修正させていただいた部分になります。」

### ◎姉崎統計情報部長

「サンプル入れ替えのところで総入れ替え方式ではなく、部分入れ替え方式を検討したい」「皆様方には来年の3月まで委員をお願いしておりますので、しかるべき時期に、また検討会を開催させていただくことになるかと思っております」

出典)「平成27年9月16日第6回毎月勤労統計の改善に関する検討会議事録」より抜粋

 **二度と開かれず**



# ベンチマーク更新の影響を受ける指数 (両省で認識のギャップ?)

## 総務省

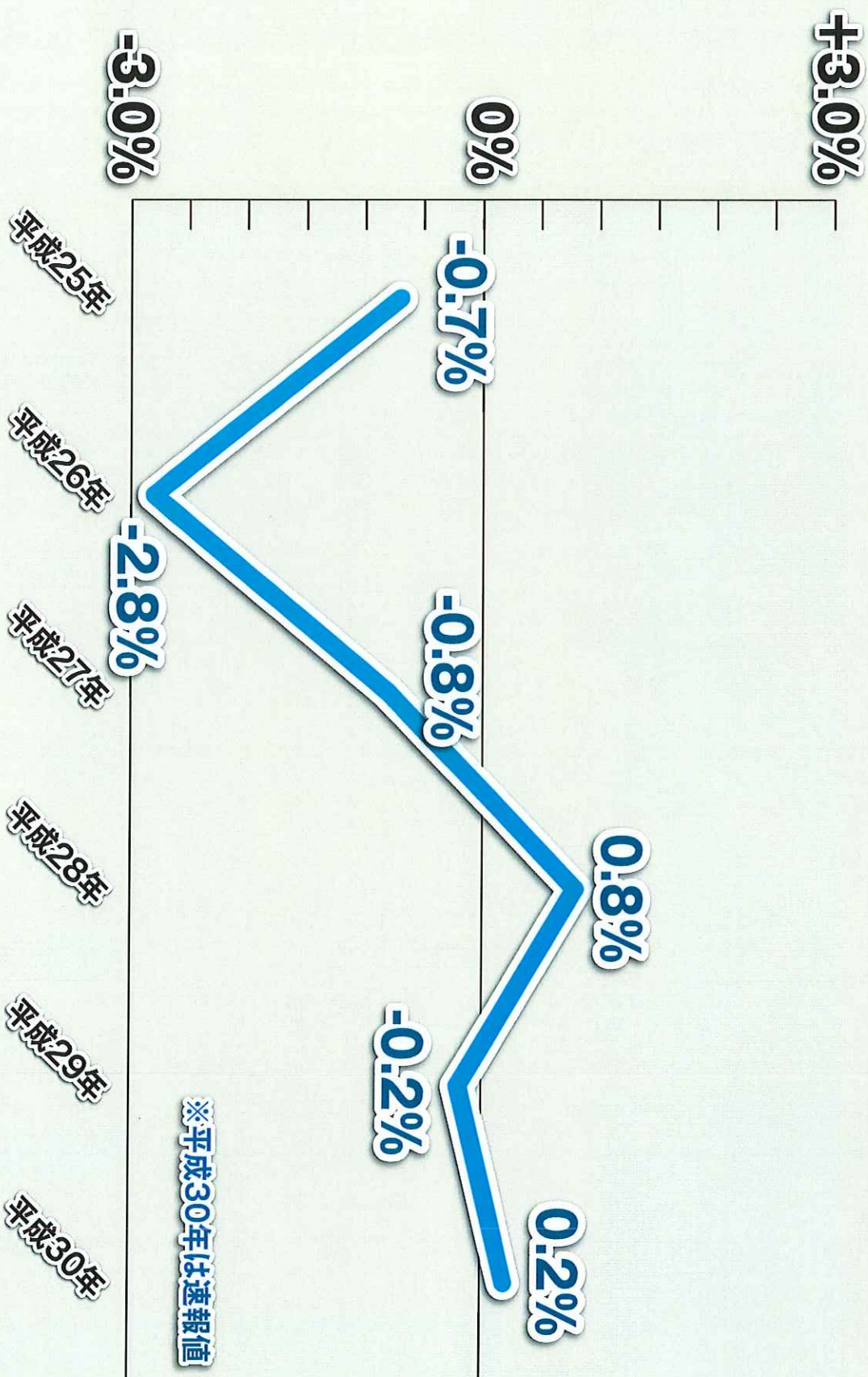
- 常用雇用指数

## 厚労省

- 常用雇用指数
- 賃金指数
- 労働時間指数



# マイキン統計実質賃金上昇率



出典：毎月勤労統計調査をもとに長妻昭事務所作成

パネルの写し

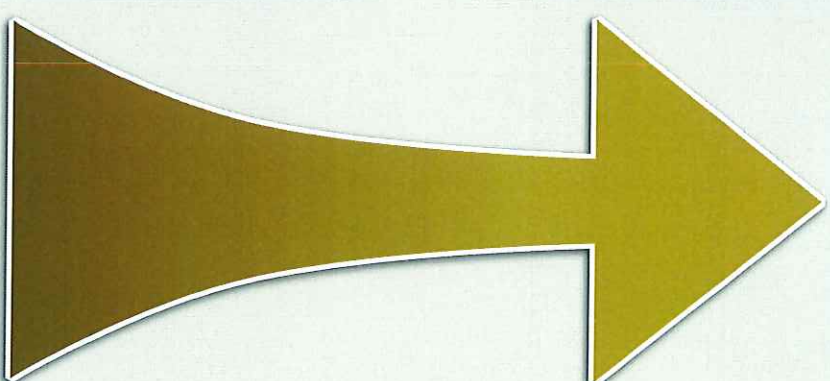


# マイキン統計実質賃金上ぶれ2段重ね

不正復元

+

ベンチマーク(ウエイト)更新  
さかのぼり補正せず





マイキン統計、賃金上昇率、なぜ実質を公表しない？

# 名目

# 実質

**本系列**

**本系列**

**共通事業所**

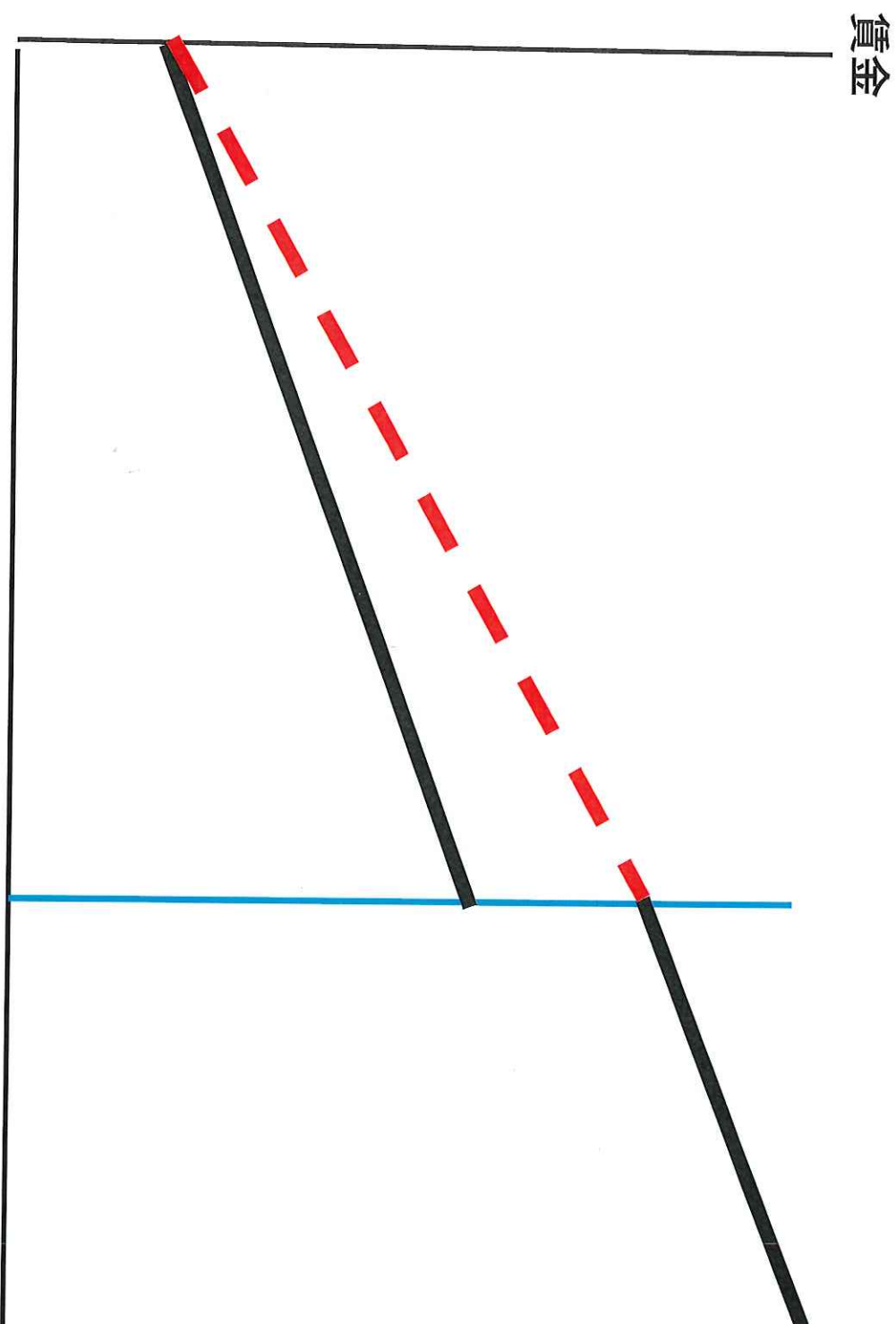
~~**共通事業所**~~

**非公表**

※  が公表



# ベンチマーク(ウエイト)更新における賃金指数の さかのぼり三角補正のイメージ図



出典) 厚生労働省資料をもとに長妻昭事務所で作成

平成31年2月18日 衆議院予算委員会 立憲民主党 長妻昭 提出資料